



# 20歳 再会と門出

登米市の未来を開く新成人



会場の登米総合体育館には各町域の新成人が、スーツや振袖に身を包み一堂に集いました

「成人の日」前日の1月9日、登米市成人式が登米総合体育館で開催されました。  
今年の成人式は、昨年より22人少ない1025人（男515人、女510人）が対象。このうち、式典には晴れ着やスーツに身を包んだ866人の新成人が出席しました。  
開式前、旧友との再会を喜ぶ声が響く一方、式典では大人としての自覚を真剣な表情で受け止めていました。



芳賀 翔太 さん（登米町）

**本**日は、わたしたちのために素晴らしい成人式を開いていただき、本当にありがとうございます。  
20歳になり、皆さん、いろいろな思いがあると思いますが、わたしにとつてこの20年間は、本当に短いものでした。本日、こうして成人式を迎える事ができたのは、両親や先生方、そして、大切な友人たちの支えのおかげだと思っています。

20歳になったと言っても、まだ「大人初心者」という感じで、未熟なところもあります。これからは一つ一つの事に対して、大人としての責任を持って、徐々に「大人の自覚」を体に染み込ませていこうと思います。  
現在、わたしは家で専業農

## 農業の持つ素晴らしさや重要性を多くの人に広く伝えていきたい

家をしています。高校を卒業後、父の下でさまざまな仕事を覚えながら日々を過ごしています。  
今、農業を本業としていますが、これからの時代、農作物の食料自給率はさらに低下していくことが予想され、農業はますます重要になってくると思っています。  
わたしは、これからも農業を続けていって、農業の素晴らしさや重要性を若者たちに広く伝えていきたいと思っています。  
最後に、20歳という年を一つの節目として、自分に関わるすべての人たちへの感謝の気持ちを忘れずに、今後も、日々精進していきたいと思っています。

### — 20歳になって思う 「はたちの主張」 新成人からのメッセージ —

**気**が付けばもう20歳になりました。皆さんはどんな人生を歩んでいますか。  
この20年の間に、わたしはたくさん経験をしてきました。思い返すときがありませんが、特に「わたし」を変えたのは、高校を卒業してからの2年間でした。社会人になり、そこで出逢った人々から多くのことを学び、経験したおかげで、今まで狭かった視野がぐっと広がりました。反対に多くのことを知ったことで、物事や人間関係に対して少し臆病になってしまいました。傷つくのを恐れて自分自身をかばい、逃げてきたことも何度もありました。  
しかしその経験を通して、物の見方や考え方を変えることができ、つらく苦しかった

## つらく苦しかった経験が自分自身を成長させる貴重な糧に

経験は、これから生きていくための糧になりました。また、その思いは、きつとわたし自身をもっと成長させてくれるものと思っています。  
これからは、自分の意思で決断する場面がたくさん出てくると思います。その時は皆さんも周りに流されず、自分を信じて答えを決めてください。時には批判されることもあると思いますが、強い意志があればきつと伝わるはずだと信じています。これは、簡単にできるものではありませんが、わたしは信じることで道は開けると思っています。  
これからまた時を過ごしていきますが、わたしはこの一生に一度の人生を、悔いのないように歩いていきたいと思っています。



早坂 美穂 さん（中田町）